

平成26年度 事業計画

I 自主事業

当該事業は、会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業であり、この事業を通じて、各分野における会員の拡大と芸術文化の普及・振興を図ることとします。

1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

(1) 機関誌「藝文京」の発行

協会会員をはじめ、芸術文化関係者・関係機関、公共施設等を対象に、機関誌「藝文京」を年2回（予定）発行します。（1,000部×2回）

(2) 協会ホームページのリニューアル

芸術文化に関する情報発信機能を一層充実させるため、協会ホームページをリニューアルし、催事情報の掲載や、資料の公開などを行います。

2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

(1) 各種芸術文化事業の実施

事業名	事業内容
芸術文化・和の祭典 (仮称)	日程：9月7日(日) 会場：京都市北文化会館 出演：邦楽・邦舞・華道・茶道 ※ 名称・内容等については検討中
京都ビッグ・バンド・ フェスティバル	日程：2月1日(日) 会場：京都コンサートホール 出演：調整中

(2) 各種芸術文化事業の奨励(共催・後援・助成)

会員が実施する事業に対して、後援・共催等の支援を行います。

3 芸術文化に関する教育及び普及

事業名	事業内容
夏休み邦楽体験教室	日程：7月24日、28日、8月4日、6日、11日（5日間） 講師：邦楽分野会員 ※ 成果発表は京都芸術センターで行います。
夏休み能楽体験教室	日程：7月29日、30日、31日、8月5日、6日（5日間） 講師：伝統芸能分野会員 ※ 成果発表は8月7日に大江能楽堂で行います。
夏休み邦舞体験教室	日程：8月6日、7日、11日、12日（4日間） 講師：邦舞分野会員
冬休み文芸体験教室	日程：調整中 講師：文芸部門会員 ※ 実施コース等については調整中

※ 教室の会場は、いずれも京都芸術センターです。

4 芸術家等の育成及び顕彰

(1) 芸術家等の育成

事業名	事業内容
京都いけばな プレゼンテーション	華道分野団体会員によるいけばな展示とワークショップ等 会期：6月6日-8日
公募展（名称未定）	絵画、彫塑、工芸分野を対象とする公募展 会期：1月10日-2月1日（予定）

※ 会場は、いずれも京都芸術センターです。

(2) 芸術家等の支援

ア 京都市芸術文化協会賞

原則として当協会に所属する会員を対象に、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を表彰します。

イ 京都市芸術文化協会新人賞

原則として当協会に所属する会員を対象に、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を表彰します。

5 総会・懇親会

協会会員の総会・懇親会を開きます。

Ⅱ 受託事業

当該事業は、京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「京都文化芸術都市創生計画」に基づく京都市施策の受託事業であり、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して、京都市の文化芸術行政の一翼を担っています。

1 各種芸術文化事業の実施及び奨励 <市民狂言会>

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館で開催します。(6月6日、8月20日、12月5日、3月13日)

※ 前売2,500円 当日3,000円 年間席札8,000円

2 芸術文化に関する教育及び普及 <ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業>

京都市内の幼稚園、保育所、小学校、中学校、総合支援学校、児童館を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。平成26年度も約20校を対象に実施します。

3 助成関係事業

- (1) 京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務
- (2) 京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務
- (3) 文化芸術顕彰制度 表彰業務

4 京都文化芸術オフィシャルサイト <Kyoto Art Box>

国民文化祭・京都2011を契機とし、より多くの方が文化芸術に親しめるよう、京都市の文化芸術全般の情報を集約したホームページを運営します。

5 京都文化芸術コア・ネット・ワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術ネットワークを運営します。

6 琳派四〇〇年記念祭関連企画展

琳派と関連した若手作家による企画展を京都芸術センターで実施します。

7 京都文化芸術プログラム2020(仮称)関連事業

京都市が平成26年度に策定する予定の京都文化芸術プログラム(仮称)におけるリーディングプロジェクトの一部事業を実施します。

8 京都市新規採用職員研修

京都市の新規採用職員の研修として、茶道の講義と体験を実施します。

9 その他

(1) 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」関連事業

札幌市からの受託事業として、創生劇場「金春流と金剛流～下掛りの極み～」公演を6月に実施します。

(2) PARASOPHIA 京都国際現代芸術祭 運営関連事業

京都国際現代芸術祭組織委員会からの受託事業として、同芸術祭を運営するサポートスタッフを育成・管理するとともに、京都国際現代芸術祭を将来的に発展継続させるための普及啓発活動を行います。

Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

当該事業は、京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術に関係する者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行ってきました。平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として引き続き管理運営を行っています。

【活動センター機能】

1 伝統的芸術の継承・創造事業

(1) 明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を6回開催します。

開催日	席主	内容
5月24日	日 菓 (和菓子作家)	抹茶
9月	調整中	未定
11月22日	伊藤存 (美術作家)	未定
12月	調整中	未定
1月24日	大西 功 (和ろうそく職人)	抹茶
3月	調整中	未定

※ 参加料 1回1,000円

(2) 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」

京都の歴史を彩り都市の資源ともなっている伝統文化や伝統芸能を、市民や観光客が気軽に鑑賞し、それらに身近に触れる機会を提供する様々な事業を平成24年度に引き続き、京都市との共同事業で実施します。

ア 創生劇場公演

国内外の貴重な伝統文化を発信し、将来に継承する拠点施設となる「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」の実現を目指すモデル事業。今年度は、「ハムレット」を題材にした公演（演出：山本萌（金沢舞踊館）、脚色：小林昌廣）を3月に予定。

イ 伝統芸能ことはじめ

伝統芸能を楽しむため、テーマを決めてわかりやすく解説する講座を6回実施します。

開催日	演目
4月12日	芝浜の革財布
6月14日	梶原平三誉石切
7月12日	鯛賣戀曳網
9月13日	東海道四谷怪談
11月1日	道行初音旅 道行旅路の花笠
1月10日	仮名手本忠臣蔵 ～九段目・山科閑居～

講師：小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授）

ウ 月イチ☆古典芸能シリーズ

月に一度は古典芸能に触れ楽しもうという企画

4月～12月 毎月1回開催

エ 札幌市からの受託公演（再掲）

創生劇場「金春流と金剛流～下掛りの極み～」公演・レクチャー

出演：豊嶋晃嗣、山井綱雄、茂山茂、白坂保行ほか

会場：札幌市教育文化会館

開催日：6月12日

2 芸術家・芸術関係者育成事業

(1) わざゼミ

伝統工芸の知識や手法を習得するためのレクチャー、実習等を組み合わせた初心者向けのワークショップを開催します。平成26年度は、染織のジャンルで行います。また、講座で使わない期間について、織り機の貸し出しを行います。

(2) トラディショナル・シアター・トレーニング

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能、狂言及び日本舞踊に関する基礎知識・技術等を習得してもらうためのプログラムを実施します。

平成26年度は、能、狂言及び日本舞踊のオリエンテーション（7月18日）の後、ワークショップ（7月19日・20日）、約3週間のトレーニング（7月21日～8月7日）を行い、8月8日に大江能楽堂で成果発表を行います。また30周年を記念して記録集を発行します。

対 象 演劇・ダンスなど舞台芸術に関わる表現活動、あるいは研究活動を行っている者
24名（日本舞踊・能・狂言 各8名程度）

講 師 能：片山伸吾・田茂井廣道・大江信行
狂言：茂山あきら・茂山童司・丸石やすし
日本舞踊：若柳弥生

※プログラム・ディレクター ジョナ・サルズ

受講料 一般70,000円（選考による特別割引あり） 学生50,000円

(3) KACパフォーミング・アーツ・プログラム

ジャンルで区切ることが難しい新しい表現や、クロス・ジャンルの表現を積極的に創造し発信することを目指します。

<演劇>

事業名	内容	開催時期
演劇計画Ⅱ 一戯曲創作一	平成27年度の上演に向けた、柳沼昭徳、山崎彬による戯曲創作の一部をドラマリーディング形式で公開。	5月25日、6月24日、11月を予定。
杉原邦生演出 KUNI011 『ハムレット』	オーディションで選ばれた東西の役者と創作する杉原邦生演出による新しい「ハムレット」。 ※穂の国とよはし芸術劇場プラット（愛知県豊橋市）、あうるすぽっと（東京都豊島区）、札幌市教育文化会館（札幌市）との連携事業。	7月3日-7月7日

<ダンス>

事業名	内容	開催時期
大植真太郎WS &ショーイング	ネザーランド・ダンス・シアター、フルベリー・バレエをはじめ、ヨーロッパの著名なダンス・カンパニーで活躍してきた大植真太郎によるダンスワークショップとワークインプロGRESS。	7月28日-31日 (ワークショップ) 8月2日 (ワークインプロGRESS)
プロジェクト “PINWHEEL”	エスター・パルフェ、チョン・ヨンドウ、北村成美による「家族」をテーマにしたソロ作品の発表とワークショップ。 ※Palais Kabelwerk(ウィーン)、青山円形劇場(東京)との連携事業	9月11日-13日 6月22日に北村成美ショーイングを開催
「腹は膝までたれさがる」	きたまり×白神ももこ×筒井潤による、新作ダンス公演。 ※急な坂スタジオ(横浜)との連携事業	12月12日-14日

<音楽>

事業名	内容	開催時期
FOR A SILENT SPACE	出演：原摩利彦(作曲)、イガキアキコ	6月14日
安野太郎のゾンビ音楽	安野太郎(作曲)によるゾンビ音楽	11月9日
モノオペラ 「人でなしの恋」	増田真結(作曲)、山口茜(脚本)	12月20日

<伝統芸能>

事業名	内容	出演	開催時期
継ぐこと・伝えること	河内音頭×新聞詠み	河内家菊水丸	9月5日
	講談	七井コム斎ほか	11月
	和妻×奇術	藤山晃太郎ほか	1月31日

(4) 京都国際舞台芸術祭2014

平成25年度に引き続き、9月27日から10月19日まで、京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT) 2014を開催し、国内・海外から先駆的な取組を行っている演出家を招へいし、舞台芸術の祭典を開催します。

市内の複数の会場での演劇、ダンスの公演のみならず、関連企画として各種フォーラムやトークセッション等を実施することにより、若手演出家及び観客の育成を図ります。

(5) 展覧会ドラフト2015

京都芸術センターを舞台とした「展覧会企画」を募集し、入選者には展覧会実現のための資金および会場を提供し、展覧会実現に向けての支援を行います。

審査員：河本信治(PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015 アーティスティックディレクター)

展覧会開催時期：平成27年3月

(6) 展覧会「インキュベーション」

創作手法やテーマ等何らかの共通点を持つ新進若手作家とベテラン作家による展覧会を実施します。

展覧会名	内容	会期
新incubation6	堀尾貞治と冬木遼太郎による展覧会	5月17日-6月22日

3 先駆的・実験的事業

(1) ニュイ・ブランシュ2014

平成25年度に引き続き、ニュイ・ブランシュ（白夜祭）を実施します。平成26年度は、開催中の京都国際舞台芸術祭2014と連携したプログラムを実施するほか、工芸と現代アートをテーマに実施します。

※実施時期 10月4日（予定）

(2) フェルトシュテルケ・インターナショナル 2014 (Feldstärke International 2014)

平成25年度から準備を進めてきた、ドイツとフランスのアートセンターとの共同事業。パフォーマンスやビジュアルアーツ、メディアアート、デザイン等の分野におけるドイツ、フランス、日本の学生たちの交流を目指すプロジェクトを実施します。

国（都市）	受入先	期間
ドイツ（エッセン）	PACT Zollverein	6月26日－7月3日
フランス（マルセイユ）	montévidéo	7月4日－11日
日本（京都）	京都芸術センター	9月13日－20日

4 制作・発表支援事業

(1) 制作支援事業（制作室使用者募集）

京都芸術センターの制作室を、美術作品の制作、ダンスや演劇の稽古場（発表する公演会場が決まっていることが前提）等として使用を希望する芸術家を公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間無料で提供します。年2回（3月及び9月）募集予定です。

(2) 発表支援事業（共催事業募集）

京都芸術センターにおける事業として相応しい企画を公募し、講堂、大広間、フリースペース等の施設を、芸術作品の発表の場として提供する事業を実施します。

発表支援事業の募集時期等についても見直すことにより、よりレベルの高い発表支援事業の実施に向けて、制度改善を行っていくこととします。

【情報センター機能】

1 芸術文化情報の収集・発信事業

(1) 図書室の運営

センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

蔵書のうち、目的に見合う図書等約5,000冊、ビデオ等約500本を選択のうえ、閲覧に供し、芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催します。

(2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

(3) 通信紙の発行

京都芸術センター事業の広報をはじめ国内外の芸術文化に関する情報を掲載した通信紙を、芸術関係者・機関、図書室、公共施設等を対象に、毎月発行します。

(4) 京都芸術センターホームページ

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します。

2 教育普及事業

(1) 大学・高校等への出張事業

教育普及については、これまでから中学生以下を対象とした京都市からの受託事業「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」や、高校、大学を対象として芸術センターの活動内容の紹介等を行うための出張授業を実施します。

(2) インターンシップ・プログラム

8月の約10日間、インターンとして、主にアートマネジメントや芸術学を専攻あるいは志す学生を受け入れます。また、平成26年度から大学コンソーシアム京都との連携を開始します。

【交流センター機能】

1 国際交流事業

(1) アーティスト・イン・レジデンス

国内外の優れた芸術家・芸術関係者を受け入れ、京都芸術センターでの創作活動を支援するとともに、市民や国内の芸術家等との交流を図るレジデンス事業を実施します。平成25年度は、応募205件(42カ国)の中から、2組のアーティストを受け入れるほか、京都市立芸術大学やアメリカのNational Performance Network(NPN)、オーストラリアのAsialinkとの連携のもと、3組のアーティストを招へいします。

<平成26年度受入アーティスト>

区分	氏名	ジャンル	居住国	滞在期間(予定)
招へい(芸大)	Araya Rasdjarmrearnsook	美術	タイ	5月17日-6月15日
招へい(NPN)	Allison Orr	ダンス	アメリカ	8月25日-9月28日
招へい(Asialink)	Jay Kochel	美術	オーストラリア	10月20日-1月5日
公募	Inbal Oshman	ダンス	イスラエル	11月中旬-12月末
公募	MART	美術	アイルランド	7月31日-8月10日

(2) Kyoto AIR Alliance Festival 2014 (平成26年新規事業)

主に海外のアーティストによる滞在制作を伴う公演や展覧会を紹介するフェスティバル。京都に拠点のあるレジデンス施設や団体の連携を図ると同時に、一般市民に向けてアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業の認知を高めることを目的とします。期間中、AIR関係のシンポジウムやネットワーク会議を実施します。また、情報を集約し海外への発信力を高めると同時に、京都のアーティスト向けの海外のレジデンス情報の提供も積極的に行います。

実施期間：平成26年8月～9月(調整中)

主催：京都芸術センター、京都文化芸術コア・ネット・ワーク

共催・連携(調整中)：ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク、
ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川、ヴィラ九条山、山懐庵、寄す処、
東山アーティスト・プレイスメント・サービス、AIRネットワーク準備会 等

(3) AIR・アーカイブ・リサーチ・ラボ(仮称)

アーティスト・イン・レジデンスの事後評価方法の研究やアーカイブを行う専門員の育成を行います。

2 市民及び芸術家相互の交流事業

(1) 展覧会「夏休み企画」

子どもも大人も楽しめる展覧会企画とワークショップを開催します。

展覧会名	内容	会期(予定)
夏休み企画展 『イメージーション・スーパー ハイウェイ』	井上大輔、牛島光太郎、濱口直巳による企画展	7月12日-8月17日

(2) てんとうむしプロジェクト05

芸術センターボランティア・スタッフとアーティストが協働して企画運営する展覧会を開催します。

展覧会名	内容	会期
てんとうむしプロジェクト05 NEW HOME	ボランティア・スタッフらとアーティスト東明、毛原大樹による協働企画展	4月11日～5月11日

(3) 明倫レコード倶楽部

SPレコードを使用するレコード音楽鑑賞会を4回、番外編としてLPレコードを使用する会を2回開催します。

開催日	内容	講師
4月13日	ベートーベン「運命」三題	亀村正章
6月15日	(番外編) 骨董レコードを聴く(1)	亀村正章
8月3日	声をきく	いしいしんじ
10月18日	(番外編) 骨董レコードを聴く(2)	亀村正章
12月21日	音をきく	いしいしんじ
2月1日	昭和初期のポップス・ラテンアメリカリズム ～懐かしの名曲集～	亀村正章

※参加費：500円（番外編は無料）

(4) 京都市交響楽団アンサンブルコンサート Kyo×Kyo Today vol. 5

京都芸術センターの会場の雰囲気を活かし、演奏者と聴衆が近い距離で音楽を楽しむ演奏会を、京都市交響楽団との共同主催事業として開催します。

日時：1月30日 19:00開演

(5) 素謡の会「世謡の春」

伝統芸能である能楽に気軽に触れてもらうために、毎年テーマを設定して曲目を取り上げ、素謡の上演、曲の解説を行います。

平成26年度は、前年度に引き続き田茂井廣道氏の企画により生誕650年を迎える世阿弥による4つの演目を取り上げるほか、観能ツアーと、演目ゆかりの地で素謡の会を開催します。

開催日	演目	出演者(予定)
5月22日	桜川	林宗一郎、河村晴久、河村和貴、味方團、松野浩行、田茂井廣道
7月10日	忠度	片山伸吾、橋本光史、橋本忠樹、深野貴彦、田茂井廣道、豊嶋晃嗣、宇高竜成
11月13日	花筐	杉浦豊彦、味方玄、宮本茂樹、浦田保浩、田茂井廣道
2月5日	当麻	河村晴道、味方健、吉浪壽晃、田茂井廣道、竹市学

※入場料 前売1,500円 当日1,800円 年間席札5,000円

観能ツアー：8月31日、12月14日

謡曲ひとめぐり：11月3日 出演：河村晴道、浦田保親、大江信行、田茂井廣道

(6) 市民寄席

伝統芸能である落語に気楽に触れてもらうために、年5回市民寄席を開催します。

開催日	出演者・演目
5月13日	桂治門「真田小僧」、桂団朝「座長の涙（小佐田定雄・作）」、桂枝女太「おいによ（厩火事）」、笑福亭鶴光「善悪双葉の松」
7月17日	露の眞「寿限無」、笑福亭遊喬「試し酒」 桂 塩鯛「遊山舟」、桂春之輔「子はかすがい」

※11月11日、1月21日、3月1日開催分については、出演者・演目未定

※ 出演者：上方落語協会から派遣 ※ 入場料：前売1,500円、当日1,800円、年間席札6,000円

(7) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施します。

3 地域・学術・産業との連携事業

(1) 祇園祭・鋳職人の技展

山鉾町が所有する祭の道具や飾りなど、美術工芸品の数々を鋳職人の技という観点から紹介します。それぞれの山鉾町と芸術センターが共同で開催します。

主催：(公財)叡天神山保存会、(公財)南観音山保存会、(公財)四条町大船鉾保存会、
京都芸術センター

会期：10月23日～27日（予定）

(2) その他の主な地元関連事業

事業名	開催日
ペトロフ・ピアノコンサート (主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会	6月2日、11月21日、2月28日
明倫文化祭 (主催)明倫自治連合会	調整中 (11月頃)
まちなかを歩く日 (主催)明倫まちづくり委員会	調整中 (11月頃)

(3) ダンス事業 (Dance 4 All)

コミュニティダンス企画「Dance 4 All」を引き続き実施します。年齢やそのたどってきた人生もさまざまな人たちが、その人にしかできないダンスを紡ぎ出し、ひとつのダンス作品へ結集させていきます。平成26年度はファシリテーターの育成に重点をおきます。

(4) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロンいっぷくなどの実施を通じて、センターとボランティアの方々との交流をさらに深めます。

※登録者数 約300名（平成26年1月現在）

(5) 学術との連携

京都市立芸術大学とのアーティスト・イン・レジデンスの共同取組や、国際日本文化研究センターとの伝統文化芸術総合研究プロジェクトの実施など、学術との連携をすすめます。

<参考> その他の展覧会

展覧会名	内 容	会期 (予定)
【共催】 京都市立芸術大学企画展	京都市立芸術大学の教員の作品による企画展	8月22日 －31日
アリソン・オア×ヒスロム 【アーティスト・イン・ レジデンスプログラム】 「PLAY BALL KYOTO」	アメリカ人振付家・演出家のアリソン・オアが京都の女子プロ野球チームと作る作品の上演とドキュメンタリー映像等の展示。同じテーマで、ヒスロムも作品制作を行い、パフォーマンスと展示を行う。	9月5日 －28日 ※パフォーマンスは 9月23日にわかさスタジアム京都にて
京都国際舞台芸術祭2014	金氏徹平による企画展	10月4日 －11月3日
琳派400年記念祭 企画展 (再掲)	琳派に関連した若手作家による企画展	11月11日 －12月14日
【共催】 「予言と矛盾のアクロバット」	京都在住の若手アーティストらによる企画展	12月19日 －27日
【共催】 公募展 (名称未定)	絵画、彫塑、工芸分野を対象とする公募展 主催：京都市芸術文化協会	1月
【共催】 MOVING	映像表現の多様性を紹介する映像芸術祭	2月